

看護専門科目	臨床応用看護学					
看護学科	必修	2単位	実習	平成30年度	通期	4年次
科目名	母性看護学実習 Women and Newborn Nursing Practicum					
担当教員	◎江南宣子 田村博美 塚田桃代 中村喜代美					
目的	母性看護学の広義の対象は、すべてのライフサイクルにおける女性を対象とするが、母性看護学実習においては、対象を狭義の定義である妊娠・分娩・産褥とする。そして生理的変化である妊娠・分娩・産褥期に於ける母体および新生児の特性、母児の正常な経過に起こりやすい健康問題を理解し、母児とその家族への看護を行うための基本的能力を養う。また出産の場に立ち合うことを通して自己の生命観を振り返ることや、妊産褥婦・新生児のケアを通して、自らの母性・父性意識をも高める。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康診査に来院した妊婦の身体的、心理的、社会的特徴を理解し、妊娠各期における看護の必要性が理解できる。 2. 産婦の身体的、心理的状況を把握し、分娩各期における看護の必要性が理解できる。 3. 褥婦と新生児の身体的、心理的、社会的状況を把握し、産褥期における看護が、指導の下、実践できる。 4. 外来、病棟での各種保健指導に参加して、母児の健康や正常な経過を促進するための看護について理解できる。 5. 出産の場に立ち会うことで自己の生命観を振り返ったり、母子のケアを通して自己の母性意識・父性意識を高めることができる。 6. 母性看護における看護者の役割が理解できる。 					
他科目との関連	母性看護学、小児看護学他					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験					
	レポート					
	記録等					0.2
	その他					0.8
評価基準	総合評価で一定基準以上を合とし、未満は否とする。					
教科書	講義で使用した教科書等					
参考資料	講義で使用した資料等					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	実習オリエンテーションは必ず出席すること。 講義（母性看護学概論、母性看護学実践論Ⅰ・Ⅱ）での学習内容を十分復習して臨むこと。					